

平成30年度

商工観光部各課所管の中小企業振興関連施策について

(1) 商業労政課

平成 30 年度の主な事業

■ 中小企業振興推進事業

- ・ 第 2 次北見市産業振興ビジョンの計画期間が今年度で終了することから、これに代わる計画として、北見市中小企業振興基本条例の目的・基本理念を具体化する北見市中小企業振興プランを策定する。
- ・ 地域経済の発展と市民生活の向上のため、雇用の担い手である中小企業者や創業希望者を対象とした各種セミナーを実施する。
また、当審議会においては、各種中小企業振興策のご審議のほか、第 2 次北見市産業振興ビジョンの進捗管理を行っている。

■ 融資制度預託金

- ・ 中小企業の育成振興と経営安定に寄与するため、事業運営の基礎となる金融の円滑化、正常化を目的として、北見市中小企業融資制度による 11 種類の融資を行っており、資金運用原資として、市内取り扱い金融機関に預託している。

< 利用状況 >

・ 新規貸付件数	27 年度	101 件	1,520,900 千円
	28 年度	75 件	1,034,630 千円
	29 年度	69 件	967,386 千円
・ 既貸付残件数	27 年度	508 件	4,634,634 千円
	28 年度	452 件	3,988,925 千円
	29 年度	394 件	3,518,950 千円

■ 地域商店街振興対策事業

- ・ 商店街振興組合等が地域の賑わいを創出し、より魅力ある商店街づくりを目的として行うイベントのほか、商店街の活性化事業を行うために必要なアドバイザーの招へい及び商店街の環境整備に対し補助する。

■ まちなか賑わい創出事業

- ・ 北見商工会議所が中心市街地の空き店舗対策として行うアンテナショップ事業やチャレンジショップ事業など、商店街の賑わいの創出並びに活性化を図る事業に対し補助する。

■ まちなか魅力向上支援事業

- ・ 北見市商店街振興組合連合会等が中心市街地に賑わいを創出するために、空き店舗を利用したギャラリーの開設のほか、商店街の魅力を伝えるソフト事業と連携したまちなか回遊事業等に対し補助する。

■ 北見地域季節労働者通年雇用促進協議会

- ・ 季節労働者の通年雇用の促進に自発的に取り組む地域の関係団体で構成する北見地域季節労働者通年雇用促進協議会が策定した「雇用対策計画」に基づき、

国からの委託事業を実施している。

- ・会 長 : 北見市商工観光部長
- ・構成団体: 自治体 ……オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町
関係団体……北見商工会議所、留辺蘂商工会議所、きたみ市商工会、北見建設業協会など 14 団体

■北見市大卒者情報センター

市内企業等の人材確保を目的として、北見地域に就職を希望する大学生・専門学校生などに当センターに登録を行っていただき、就職に関する資料や企業情報などを提供している。また、平成 27 年度より北見商工会議所や北見工業大学などと連携し、地元企業合同説明会を開催している。

- ・会 長: 北見市副市長
- ・運営協議会構成団体: 北見市、北見公共職業安定所、北見商工会議所、北見工業大学、日本赤十字北海道看護大学

■労働状況調査事業

市内の民間企業における従業員の雇用状況を把握し、今後の労働条件等の改善や労働力確保・定着を図るため、賃金をはじめとした諸労働条件についての調査を実施している。

■雇用就業推進事業

- ・「ジョブサポートきたみ」の運営

求人情報の提供、就職・就業への支援、相談員による就職相談

利用状況 4,372 人 (H28 年度)

3,811 人 (H29 年度)

併設機関

北海道 H16 ジョブカフェ北見 (北海道若年者就職支援センター)
若年者 (39 歳以下を対象)
就職に向けたカウンセリング、セミナー、
就業支援システム 等

H24 ジョブサロン北見 (北海道中高年者就職支援センター)
中高年者 (概ね 35 歳以上を対象)
適職診断、カウンセリング 等

国 H25 ハローワーク北見 (北見公共職業安定所)
求職者に対する相談・指導、職業紹介

■ものづくり人材育成事業

北見高等技術専門学院への入校者の増加による、技術者の地元定着を目的とした、入校者支援制度の創設に向け、他地域において自治体が行う高等技術専門学院への支援施策や、その効果などを調査する。

■技能・ものづくり体験事業

技能・ものづくり離れを解消するために、技能・ものづくり体験を通じて、技能の振興を図る。

- ・ものづくり体験事業
浴衣和裁講座、ものづくり体験教室
- ・技能普及啓発事業
地域の食材を活用した新商品の開発や技術普及の講習会開催

平成 30 年度の主な予算計上項目 (単位：千円)

事業名	金額
中小企業振興推進事業費	3,956
融資制度預託金	2,092,983
地域商店街振興対策事業補助金	1,660
地元企業合同説明会負担金	500
ものづくり人材育成事業	99
技能・ものづくり体験事業	3,000

所管施設

- ・北見市働く婦人の家（北見市女性センター）
- ・北見勤労者総合福祉センター（サントライ北見）
- ・北見中高年齢労働者福祉センター（サンライフ北見）
- ・北見地域職業訓練センター（スキルアップセンター北見）

(2) 工業振興課

平成 30 年度の主な事業

■北見市工業技術センター運営管理

木工、機械、金属等の地場企業に対する技術指導、研究開発等を推進し、地域産業の振興を図ることを目的に昭和 57 年に市が設置した施設。

平成 16 年度より指定管理制度により一般社団法人北見工業技術センター運営協会にて運営。

■企業立地活動の推進

推進組織：北見地域企業立地促進協議会

(会長：北見工大社会連携推進センター長 事務局：北見市)

昭和 45 年設立。大学・公設試験研究機関・民間企業等 15 団体で構成。

地域経済に高い波及効果をもたらす企業立地を積極的に促進し、活性化を図るため、企業立地に関する調査、研究及び情報の収集を行っている。

■ふるさとテレワーク推進事業

最新の I C T を活用して首都圏企業の人と仕事を誘致する取組を継続、地元での P R 活動や地元人材育成を強化して実施。

(地方創生推進交付金を活用して実施)

■立地環境 P R ・既存立地企業への支援活動等

首都圏等で開催のフォーラムやイベントを通じて、立地環境の P R 活動を実施している。

また、既存立地企業へのフォローアップとして、トップセールス活動や訪問活動、人材採用支援などを実施することで地域産業活性化を目指す。

■工業団地・ハイテクパーク

ハイテクパーク立地促進補助金を活用し、積極的な誘致活動を展開している。

・分譲率：工業団地 99.7%、100 社 ハイテクパーク 41.1%、3 社、3 公的支援機関

■地域資源活用の推進（高付加価値化・販路開拓）

推進組織：北見市地場産品高付加価値化推進委員会

(委員長：北見商工会議所中小企業委員長 事務局：北見市)

平成 17 年 7 月設立。農協、漁協、商工会議所、行政機関等で構成。

当地域の豊富な農林水産資源を活用した加工製品の開発、及び大都市圏等への地場産品の販路拡大等の取組を支援する。

■北海道小麦キャンプ 2018 in オホーツク

小麦の圃場見学やパン講習会等のプログラムを通し、全国屈指の質と量を誇るオホーツク産小麦を普及推進させ、さらなるブランド化と地産地消を通じた地域経済の活性化を目的に開催。

開催日：平成 30 年 7 月 10 日（火）・11 日（水） 場所：ホテル黒部ほか

■産学官連携の推進

推進組織：北見市産学官連携推進協議会

(会長：北見工業大学理事・副学長 事務局：北見市、北見工業大学)

平成 16 年 5 月設立。商工会議所、大学、金融機関等 14 団体に構成。

産学官交流促進を目的としたビジネスセミナーや起業家育成支援セミナーなどを開催。さらに、北見工業大学等の知見を活用し、地元事業者との共同研究開発事業を積極的に推進している。

- ・ 大学・公設試験研究機関との共同研究開発事業 71 件 (H17-H29)
- ・ 連携構築補助事業 84 件 (H17-H29)

■新エネルギー推進事業

推進組織：オホーツク新エネルギー開発推進機構

(会長：北見工業大学 環境・エネルギー研究推進センター長 事務局：北見市)

平成 14 年 5 月設立。市内の大学、エネルギー関係機関で構成。

平成 24 年度に策定した「北見市新エネルギー・省エネルギービジョン」に掲げる基本理念と推進プランの実現に向け、新エネルギーの普及・啓発事業を実施するとともに、産学官による共同研究を推進する。

平成 30 年度の主な予算計上項目

(単位：千円)

事業名	金額
企業立地推進費	44,000
北見地域企業立地促進協議会負担金	4,000
企業立地補助金	10,000
ハイテクパーク立地促進補助金	10,000
通信費低減化支援補助金	2,000
輸送費低減化支援補助金	2,000
I T 企業進出支援補助金	1,000
ふるさとテレワーク推進事業費	15,000
工業技術センター運営管理費	53,167
オホーツク圏地域食品加工技術センター運営費補助金	26,187
地場産業振興費	7,000
地場産品高付加価値化推進委員会負担金	4,000
北海道小麦キャンプ負担金	3,000
産業クラスター推進費	15,150
産学官連携推進協議会負担金	1,500
大学及び公設試験研究機関共同研究開発補助金	4,000
連携構築支援補助金	2,500
オホーツク産学官融合センター経費	5,800
北見工業大学社会連携推進センター推進協議会負担金	1,350
新エネルギー推進費	11,980
オホーツク新エネルギー開発推進機構負担金	3,400
住宅用太陽光発電システム導入費補助金	8,580

所管施設

北見市工業技術センター（指定管理者：（一社）北見工業技術センター運営協会）

関連施設（運営費補助）

道立オホーツク圏地域食品加工技術センター

（指定管理者：（公財）オホーツク地域振興機構）

関係イベント

起業家育成支援セミナー（北見市産学官連携推進協議会）

ソーラークリエイティブ in 北見（オホーツク新エネルギー開発推進機構）

北海道小麦キャンプ 2018 in オホーツク（北海道小麦キャンプ 2018 in オホーツク実行委員会）

オホーツクウッドクラフトフェスティバル（オホーツクウッドクラフトフェスティバル実行委員会）

(3) 観光振興室

平成 30 年度の主な事業

○観光プロモーション及び広域観光連携事業について

■北見市観光推進プロジェクト（平成 28～30 年度）

北見市観光推進プロジェクトの策定方針

第 4 次に相当するプロジェクトについては、合併 10 年の節目を迎え、「新・北見市」というイメージは一定程度落ち着いたことから、名称を「北見市観光推進プロジェクト」に変更。

市と観光協会だけではなく、観光・宿泊事業者などの主体的関わりと役割分担をした体制構築をめざし、単発（期間限定）のイベント・行事による集客とは別に、4つの地域が持つ資源と各観光協会がそれぞれめざす施策から共通項の複合と各地オリジナル戦略を切り分けた施策とともに、着地型観光商品のブランディングとマーケティングへの着手を図る。

基本方針

- (1) 北見市の観光推進体制の強化
- (2) 行ってみたくなる北見を目指した魅力づくり
- (3) 広域連携の推進
- (4) 周遊・交流都市にふさわしいインフォメーションネットワークづくり
- (5) 北見シティ・プロモーション
- (6) インバウンドの推進

平成 28 年度から実施している「北見市観光推進プロジェクト 2016-2018」が平成 30 年度をもって終了することから、各観光協会をはじめとする、関係団体などで構成する策定委員会等を設置し、平成 29 年度に実施の観光客及び市民向けのアンケート調査なども踏まえながら、市全体の観光振興策について議論を交わし、平成 31 年度から 35 年度までの 5 年間を実施期間としたプロジェクトを策定する。

また、策定にあたっては、様々な意見の集約や議論を活発化させるため、策定に係る事務について専門事業者に委託して実施する。

■着地型観光推進拠点施設の調査

平成 29 年度から、着地型観光の一層の推進を図るため、地域活性化につながる道内の道の駅等の視察を行うとともに、関係機関との打ち合わせを行い、観光拠点施設の課題や実態などの視察調査を実施した。

拠点施設の検討にあたり、休憩施設や防災拠点としての位置付けのほか、観光情報の発信、農産物の販売など様々な機能が想定され、市としては、関連する部署が多岐にわたるところである。

今後、市の関係する部局で構成する「庁内連絡会議」を設置し、情報共有等を行っていくとともに、平成 31 年度からスタートする「北見市観光推進プロジェクト」を本年度に策定する中で、引き続き、検討を深めていくこととする。

■道内中核都市観光連携協議会

道内中核都市間での情報共有を図り、観光行事及び観光資源を活用した連携事業として、プロモーションや集客・周遊促進に関する計画の立案と、それに基づく事業展開を実施している。

会 長：札幌市経済観光局 MICE 推進部観光誘致・受入担当課長

構成団体：北見市・札幌市・函館市・旭川市・釧路市・帯広市

■大雪国道広域観光推進協議会事業

大雪国道（国道 39 号線）沿線の上川町・層雲峡温泉及び北見市・温根湯温泉 地域の観光振興を地域間の密接な連携により推進し、官民一体となって内外から観光客の来訪及び滞在を促進し、もって地域経済の活性化を図ることを目的とした事業展開を実施している。

会 長：おんねゆ温泉観光協会 大江 友宏

構成団体：北見市・上川町・おんねゆ温泉観光協会・層雲峡観光協会
おんねゆ温泉旅館組合・層雲峡温泉旅館組合

○コンベンション推進事業について

■北見市観光協会

北見市で開催される大会・会議・イベント等の誘致活動及び開催支援などの事業展開を実施している。

会 長：北見市観光協会 代表理事 辻 好治

構成団体：会員 250 団体

■北海道 MICE 誘致推進協議会

国内外の学術団体・企業等のコンベンション主催者に、北海道の良質なコンベンション環境を紹介し、本道へのコンベンション誘致の推進などの事業展開を実施している。

会 長：北海道経済部観光局国際観光担当局長 近藤 裕司

構成団体：札幌・旭川・函館・釧路・帯広・北見

○物産振興事業について

■北見物産協会

北見市及びオホーツク圏の生産品の紹介、宣伝並びに販路拡張と品質の向上を図り、地場産業振興に寄与することを目的に事業展開を実施している。

会 長：（株）北見ハッカ通商 代表取締役社長 永田 裕一

会 員：正会員 43 社、準会員 3 社

■北海道の物産と観光展事業

道外の主要百貨店で開催される北海道主催の「北海道の観光と物産展」は全国 28 都市 35 会場で開催。

その内、北見市は、東武池袋百貨店や鹿児島山形屋など 21 会場を主催会場としている。

地場企業から出店している出展企業のサポートや観光パンフレットやポスターなどで北見市の観光PRを行っている。

■姉妹都市物産交流事業（オホーツク北見フェア）

高知市の観光名所である「ひろめ市場」において、より幅広い層の高知市民や県民の皆様向北見の特産品の販売や観光PRすることを目的に実施している。

開催期間：毎年2月下旬

開催場所：高知市内「ひろめ市場」

内 容：北見の特産品販売、イートイン、観光PR

出店店舗：10店舗（平成30年度予定）

○平成30年度の主な予算計上項目

自治区	名 称	金額(千円)
全 体	着地型観光推進プロジェクト	41,500
	観光関係団体補助金	24,605
	観光案内所運営経費	5,292
	物産事業費	2,717
	コンベンション推進事業	4,300
北 見	自然休養村センター運営管理費	39,138
	ファミリーランド運営管理費	14,235
端 野	グリーンクアパーク運営管理費	31,872
常 呂	森林公園運営管理費	12,435
	サロマ湖ワッカネイチャーセンター運営管理費	15,429
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉運営管理費	35,193

主な所管施設

自治区	名 称	備 考
北 見	北見ファミリーランド	
	北見市自然休養村センター	
	北見市菊花試験栽培センター	
端 野	グリーンクアパーク	のんたの湯、パークゴルフ場
	物産センター	端野駅
常 呂	常呂町森林公園	パークゴルフ場・記念塔
	常呂常南ビーチ	
	手工芸の館	
	ワッカネイチャーセンター	サロマ湖
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉	山の水族館
	滝の湯ふれあいの里	